

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	3375
部名	土木部	課名	河川整備課	課長名	榎田和典
事務事業名	準用河川八瀬川改修事業				
予算上の事務事業名	準用河川八瀬川改修事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32510		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第5節 河川の整備				事業開始年度
施策名	第1施策 治水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	河川法、雨水対策整備プログラム				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	準用河川八瀬川改修事業		<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画延長 4,900m ・河川断面の拡大(流下能力の向上) ・自然石を使用した護岸整備 		
計画年次	昭和56	年度～	平成26	年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				
浸水被害を解消し、市民が安心して暮らせる生活環境を実現させるとともに、河川環境へ配慮した整備を行い、うるおいのある水辺空間の創出や生態系の維持保全を目的とする。			(2) 対象(誰、何)		
			浸水被害地域の土地所有者及び住民 市民全般		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
工事延長 72.4m 護岸延長 左岸 59.1m 右岸 37.9m 橋梁架替 1橋 落差工 1か所 用地購入 81㎡					
6 関連・類似事業や他市の状況	一級河川鳩川・道保川改修事業、準用河川鳩川改修事業、準用河川姥川改修事業				
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	57,733	53,394	69,741	107,701	82,301
一般財源	44,000	42,377	52,129	87,987	54,895
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	13,733	11,017	17,612	19,714	27,406
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	66,123	61,404	77,811	115,771	90,371
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	準用河川八瀬川改修工事		対象名称(単位)	計画断面整備延長(m)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	64,000	61,403	77,695	115,770	83,370
対象数	65	34	49	70	110
単位あたり経費(円)	987,654	1,790,175	1,601,959	1,653,857	757,909
前年度比		1.81	0.89	1.03	0.46

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	当該年度改修事業伸率（％）	指標式と指標の説明 $\{ (\text{当該年度改修率} - \text{前年度改修率}) / \text{前年度改修率} \} * 100$			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1.8	1.3	1.7		
目標	1.8	1.3	1.7	1.9	4.4
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	全体改修率（％）	指標式と指標の説明 $\{ (\text{改修済延長/改修計画延長}) * 0.67 + (\text{用地買収済面積/用地買収計画面積}) * 0.33 \} / 100$			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	49.9	50.5	51.4		
目標	49.9	50.5	51.4	52.3	54.6
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		財政状況を鑑み、コストの縮減をはかりながら計画に従い整備を進める	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
河川環境に配慮した整備手法の検討 コスト節減を検討 特定財源の確保			自然環境へ配慮した整備への取組手法の研究		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			